

大宅映子氏 2017年新春講演会

皆違って皆いい 違うことは良いことだ



幅広い分野の審議会委員をつとめ、マスメディアでもご活躍の評論家・大宅映子氏より新春にふさわしく日本を元気にする力強いメッセージを伝えていただきます。

みんな一緒という考え方から、それぞれの違いを生かし、尊重し、共存しながら違いを認める社会の大切さについて、戦後を代表するジャーナリストである父・大宅壯一氏の思い出や日本で初めての雑誌の専門図書館である大宅壯一文庫についても触れながら、語っていただきます。

講師 大宅 映子（おおや えいこ）

評論家・公益財団法人大宅壯一文庫理事長。

1941年東京生まれ。国際基督教大学卒業後、(株)日本インフォメーション・システムズ(NIS)を設立、代表取締役社長をつとめる(現在は大宅映子事務所に吸収合併)。NISでの企業や団体の文化イベントの企画プロデュースのかたわら、78年から始めたマスコミ活動では、国際問題・国内政治経済から食文化・子育てまで守備範囲広く活躍中。また、これまで多くの審議会委員をつとめ、日本の構造改革に関わってきている。

開催概要

- 日時：2017年1月25日(水) 19:00~20:30 (18:30 開場)
- 会場：日比谷図書文化館 地下1階 日比谷コンベンションホール(大ホール)
- 定員：200名(事前申込順、定員に達し次第締切)
- 参加費：1,000円
- 申込方法：来館(1階受付)、電話(03-3502-3340)、Eメール(college@hibiyal.jp) いずれかにて
①講座名、②お名前(ふりがな)、③電話番号をご連絡ください。